

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月27日

計画の名称	塩尻市小坂田公園の既存ストックを活用した機能再編											
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)											
交付対象	塩尻市											
計画の目標	<p>塩尻市では、最重要施策として「子育てしたくなる街日本一」を目指しており、子育て世代をはじめとする市民全員が安心して暮らせる生活環境を持続可能とするために、立地適正化計画を策定し、令和元年5月に公表した。</p> <p>本事業は、居住誘導区域内の公園面積が不足(約1.9m²/人)していることが本市の課題であるとの認識のもと、本市唯一の総合公園である小坂田公園を、魅力ある公園に機能再編するとともに、</p> <p>地域振興バスによる公共交通ネットワークの強化を図ることで、居住誘導区域内住民の公園利用ニーズの受け皿を創出するものである。</p> <p>また、本市では、「共働き世帯増加に伴う、学校長期休み時の児童館の逼迫」「園庭が狭小な保育園が存在」等の課題に対応するため、</p> <p>市と教育委員会の運動機関である「こども教育部」と市の「建設事業部」が連携し、小坂田公園と子育て施設(保育園や児童館)を庁用バスで結び、</p> <p>「室内アスレチック(計画)」や「自由広場(計画)」を子どもが存分に利用できる仕組み作りを行う。</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,502	A	1,502	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					(R2当初)	(R4末)	(R6末)	
1	機能再編前後で、小坂田公園の利用実態調査を行い、利用者数(公園来場車両数)の増加率30%を目指す。	利用者増加率 = { (整備後の調査において把握した1日あたり来場車両数) / (整備前の調査において把握した1日あたり来場車両数) - 1 } × 100	0%	0%	0%	0%	30%	
2	機能再編前後で、市民に対する小坂田公園の利用満足度調査を行い、満足との回答の増加率20%を目指す。	利用者満足度増加率 = { (整備後の調査において把握した満足との回答率) / (整備前の調査において把握した満足との回答率) - 1 } × 100	0%	0%	0%	0%	20%	

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

塩尻市建設部都市計画課において実施

事後評価の実施時期

令和7年度（事業終了後）

公表の方法

市ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・利用者増加率
機能再編前 88,330台（利用台数） 機能再編後 413,124台
増加率：368%（目標値：30%）
- ・利用者満足度
機能再編前 3.3%（「魅力がある」と回答した割合） 機能再編後 12.2%
増加率：270%（目標値：20%）

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

指定管理者制度やPark-PFI制度の活用等を継続し、民間活力を活かし、小坂田公園の更なる魅力向上を図るとともに情報発信を強化し、地域に愛される公園づくりに努めていく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	30%	小坂田公園再整備計画に基づき、天然芝サッカーなど既存の公園施設を改築・更新し、公園全体の魅力に大きく向上したことによるもの。
	最終実績値	368%	
2	最終目標値	20%	同上。
	最終実績値	270%	